

ふるさとだより2 「村高はすばらしい」

学校長 市村 徹

同窓会関東支部の皆様方には大変お世話になりました。今年の3月で退職いたしました。支部総会では「村高」OBの結束力と洗練された運営に魅了されました。2年間総会にお招きいただきありがとうございます。退職する職場が思い出に残るすばらしい学校であったことを誇りに思います。それでは平成23年度の母校の近況を簡潔にご紹介いたします。



・1 学期

4月に新入生が201名入学しました。半ばには瀬波大観荘にて1年生の宿泊オリエンテーションが、2年生はイヨボヤ会館、3年生はお城山へと1日遠足に出かけました。



5月半ばにはPTA総会が開かれ約47%の出席率で、年々学校への関心の高まりの現れだと感じました。同じく後半より運動部の県大会が始まり、女子ソフトテニス部が見事優勝しました。6月半ばには体育祭が開催され、保護者や地域の方々が大勢見学に来られ、なんと全校生徒が校歌の合唱を7回も繰り返し歌い続けていました。

後半には富士美園へ3年生の1クラスが製茶の実習に出かけました。

7月後半に球技大会が開催され、28日より夏休みに入り、地区PTA懇談会が開かれ、関川地区ではピンゴゲームで大いに盛り上がっていました。

8月上旬のインターハイでソフトテニス部が全国ベスト16に入りました。

同じく上旬、新潟大学や県立大学の視察に生徒・保護者がバス5台で出かけ、大学への関心を高めました。

・2 学期

9月上旬に中学生向けオープンスクールが開かれ400名近い中学生が参加しました。同じ頃、中国雑伎団による芸術鑑賞会が開かれ、同窓会へも案内を差し上げました。中旬からは秋の地区大会が始まり、ほとんどの部が入賞を果たし、男子バスケット部が優勝しました。また野球部も久々の県大会への出場権を得ました。



10月の初めには学園祭が開催され、オープニングセレモニーでは両親が本校出身のシンガーソングライター「一樹」氏による演奏を堪能しました。

半ばには関東支部所属の須貝研司先生による講演会を開催し、後輩達の進路の指針に役立つことができました。

また、後半には学校敷地内から土壌汚染物質が検出され、新聞報道により県民に周知され、学校として保護者・同窓会へ今後の対応について説明会を開き、教育活動に支障のないように県当局にお願いしました。もともと本校は中外鉱業(精錬所)跡地であり、地面を掘れば何らかの薬物が出るという噂があったようでした。

11月中旬に酒田屋店主によるお菓子作りの実習を家庭科の授業で行い、12月半ばには2年生による沖縄への修学旅行が実施され、来年度の新入生の修学旅行は、中国を予定しています。



・3 学期

1月中旬に約150名が新発田の敬和学園でセンター試験に臨みました。

PTA会長を始め多くの教員が激励に駆けつけてくれました。今年度の推薦入試結果がほぼ出そろい、国公立大15名合格などの例年通りの結果となりました。

3月にはいよいよ卒業式を迎えました。今年度の卒業生は222人で、3年間の皆勤者は31名に達しました。頑張りを称えたいと思います。



最後に同窓会関東支部の皆様方ならびに「村高」のさらなる発展を祈念いたし、2年間勤務できたことに感謝申し上げます。

編集後記



東日本大震災の復興の一年、実は我が家も地震で屋根瓦がはがれてしまいました。屋根の修理を機会に築後三〇年の家を改築したために三ヶ月間1Kのアパートで仮暮らしをしました。このためこの新聞の編集も思うように行かない所も多々ありました。ほんの三ヶ月間しかも自宅近くでの暮らしでも不向きな所も多々あります。被災者の方々の避難所暮らしや仮設住宅での生活はいかに大変か少し思い返ることができたような気がします。

故郷の大雪も春風に溶け桜が咲き新緑の季節を迎えました。私達が元気をだし頑張ることが日本の復興につながると思えます。同窓会の絆とこの広報紙が少しでも皆さんの元気につながってくればうれしいです。

一緒に広報紙作りをしていた川上幸男(21回)さんが仕事の都合で宮城県に転居しました。相棒がいなく少し寂しくなりました。山下治郎

※編集部員を募集しています。

○維持会費納入のご協力をお願いします!

同窓会関東支部の活動を支える唯一の財源として、皆様年に年間一口(2000円)以上の維持会費をお願いしています。同封の振り込み用紙にて納入をお願いします。

昨年度は沢山の方々からご協力をいただきました。本年度もなにとぞ、よろしくお願ひ申し上げます。事務局